

保土ヶ谷区自立支援協議会 区精神 net	
日 時	R4 年 4 月 12 日 (火) 16:00~17:30
開催場所	地域活動支援センター ゆめ 2 階 会議室&各自リモート参加
出席者	参加者：会場 21 名 リモート 1 名 計 22 名 欠席者： 11 名
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ <u>非公開</u>
議題	<p>内容</p> <p>1.配布物確認、自己紹介（15分）</p> <p>2.区精神 net の成り立ち、地域包括ケアシステム（にも包括）について（10分）</p> <p>別紙資料参照（パワーポイント）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会：障害のある方が地域で安心して生活するために、「人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し、解決に向け地域で協働する場」。障害福祉に関わる者に限らず、保健、医療、教育、就労、当事者、地域住民などありとあらゆる方が、地域づくりのために協議し取り組む。 ・精神障害にも対応した地域包括システム（通称、にも包括）：精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、障害福祉計画に基づき、障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助取組者、市町村などとの重層的な連携による支援体制を構築する ・横浜市におけるにも包括：日々の個別支援で把握された課題や強みを「地域の課題」「地域の強み」と捉えなおし、課題解決に向けた取組を検討・進めるための推進体、「協議の場」。 <p>3.情報共有（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほどほど通信 <p>→ チラシ完成、病院にチラシを配布予定。次年度も会継続を検討。</p> <p>病院と患者に対して、地域の資源を知ってもらうことを目的にチラシを作成する。R3 年度はヘルパー利用（vol.1）について作成した。今後も継続予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ支援事業 <p>R2 年度より、検討会から開始。未治療、治療中断への対応を検討している。R3 年度～、事例共有、部会の中でも大変だということを確認。区精神ネット中で様々な支援者が参加しているので、皆で検討していけるのではないかとということで、区精神ネット</p>

で位置づけ。区→基幹、他 2 機関から始まっている。8 世帯に開始し、1 件卒業。

・ほどほどの会

アセスメントシート作成

R3 年度、退院支援に関わるケースに対して、病院と地域とのアセスメントの差を埋めるためにアセスメントシートを作成した。

4.R3 年度の振り返り、今年度の予定（10-15 分）

前年度のスケジュール、課題取り組みシートの振り返り（コアメンバーで成果を確認）

別紙資料参照

5.本日の議題：皆さんはどんなことに取組みたい?! あなたなら何ができる？（約 30 分）

グループに分かれて座談会（3 グループ、1 グループ（リモート））

各グループの発表（別紙参照）

リモート

家族会・家族、当事者からの話医を聞く会はもう少しあってもいいのでは？

単に情報共有だけの会であってもいいのかもしれない。

高齢精神など通院先に困るケースに焦点を当ててもらおうなど。

グループ 1

リモートを利用したい。

当事者の声を大切にしたい。

お互いもっと知りたい。

普及啓発をもっといろいろな人にしたい。当たり前のこととして皆に伝えていきたい。

グループ 2

横のつながりを強化したい。

ざくばらんに話せる機会を設けたい。

医師の参加もできるような会にしたい。

グループ 3

当事者の声を強化したい。

お互いを知りたい。

6.副代表について

副代表を公募させていただく。もし、誰もいらっしゃらなければ事務局よりお話しする。

7.その他

「たちばな会生活実態調査アンケート」回答結果（別紙参照）。
→社会資源の利用について、何らか利用している人が多いが、利用していない人がある。
また、通院先も決まっていない人もいる。家族自身の心配もある。

区より、担当変更予定。

8.次回について

年間スケジュールの決定（空欄の決定）、事業所紹介（マッピング）のこと、取組課題シート

☆次回 全体会 5月10日（火）16：00～17：30 場所：